

平成25年度事業計画 について

1 ツーリズム創造・発展事業

(1) ツーリズム企画推進事業

①各種委員会を整理・統合して事業企画委員会を軸に、会員相互の連携により事業企画・推進を図るとともに、事業提案を行う。

②ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、事業企画・推進を図るもの。

- 大分県ふるさとガイド連絡協議会
- 大分県教育旅行誘致協議会
- 大分県スポーツツーリズム推進連絡協議会

(2) 地域ツーリズム振興事業

①大分県ふるさとガイド育成事業

大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を2回開催し、ガイドの資質向上を図るとともにガイド同士の情報やノウハウの交換を促進する。

さらに、地域の観光素材を結ぶ着地型商品と連携して、ガイド活動の幅を広げていくことに務める。

②広域観光推進事業

1) 豊の国千年ロマン観光圏では、引き続き大分県北部地域観光圏協議会に事務局として参画し、県北部の広域観光圏の推進を図る。

2) 国東半島芸術祭協議会に参画し、引き続き国東半島アートプロジェクト(仮称)の企画、運営に携わる。

(3) 国内圏域別誘客促進事業

大分県への観光入込客数第1位の福岡圏域、陸海空の全ての交通アクセスで繋がる関西・中国圏域、人口が集中する首都圏に対し、それぞれのニーズに応じた情報発信やセールス活動を行うことにより、圏域毎のターゲットに対して効果的な誘客促進を図る。

また、九州観光推進機構主催の観光素材説明会・相談会に参加して、エージェント等への商品造成を促進する。

① 福岡圏域誘客対策

若い女性及びファミリー層を主なターゲットとして、フリーペーパー等各種情報誌に旬な情報の掲載などを切れ目なく発信する。

商品造成については下期向けとして5月にツーリズム商談会を開催し、エージェントやメディアに大分県の観光PRを行うとともに、バスツアー等の積極的な

造成を図る。

② 関西・中国圏域誘客対策

若い世代、アクティブシニア並びに教育旅行を主なターゲットとして、10月に県、市町村並びに会員等と一体となって、JR大阪駅を中心に百貨店やホテル、旅行エージェントと連携した大型のPRを展開するとともに、中国圏域も含めてJR西日本と九州5県が連携した誘客キャンペーンに併せて、商品造成や誘客プロモーションを実施する。

また、関西圏から大分県への交通手段が複数あることから、フェリーや航空機など交通事業者と連携した商品造成を促進する。

教育旅行では大阪、京都、兵庫といった関西圏並びに広島を中心とした中国地方をターゲットとした誘致を推進するとともに、エージェント担当者招へいやセミナー開催を実施する。

③首都圏誘客対策

好奇心旺盛なアクティブシニアや働く女性、マニア層、富裕層を主なターゲットとして、働く女性に対しては美容研究家とのタイアップによる講座開設や専門誌掲載による情報発信を行うとともに、中高年や富裕層を対象とした会員制旅行社に対する商品造成の支援等により誘客を促進する。

(4) 総合誘客事業

① JRディステーションキャンペーン

平成27年7月からの開催が正式に決定したことから、関係機関と準備協議を開始するとともに、JRが実施する月別重点事業(8月)では全国のJR主要駅約1300箇所にも5連貼ポスターを掲示する。

②大河ドラマ対策

中津市及び福岡県等関係自治体・団体と連携し、来年1月から放送される「軍師官兵衛」にちなんだ観光コースの造成やガイドブックの作成を実施する。

③旅行予約サイト対策

個人型旅行が主流となっていることから、大手旅行予約サイトと連携した誘客促進を図る。

(5) 広域連携事業

九州観光推進機構を中心に九州各県と連携した事業を実施するとともに、九州の横軸となる長崎県及び熊本県と連携した情報発信・商品造成や、東九州自動車道の全線開通を見据え、北九州市、宮崎県との連携を図る。

(6) MICE誘致推進事業

MICE誘致の窓口となるMICEセンターをツーリズムおおいた内に立ち上げて体

制整備を図るとともに、団体や企業情報の個別収集、MICE 開催データの充実や受入体制の確立を進める。

また、県内関係団体や企業並びに県外重点地区への訪問セールスを実施するとともに、様々な MICE 開催ニーズに応えるための支援制度の充実を図る。

2 観光情報収集・発信事業

(1) 観光情報収集事業

地域観光協会の観光情報と連携する XML システムを活用しながら、県内の旬の情報やご当地ならではの情報、会員を中心とした新しい取り組みに関する情報などを収集・集約する。

(2) 観光情報誌発行事業

情報発信委員会を中心に県内季節ごとの魅力ある情報をまとめた観光情報誌「Gururitto〜ぐるり〜」を年4回発行し、県内及び九州内や中国地方などの道の駅や公共交通機関のターミナルなどに配布する。また、会員向けには2ヶ月に1回「ツーリズムおおいた NEWS」を発行し、各種事業の現況や県内の観光の動向を紹介する。

(3) 観光ホームページ管理事業

平成 22 年 7 月にリニューアルして 3 年が経過することから、デザイン改修やツイッター、フェイスブックへの対応などホームページの改修を行う。

また、大分県観光に関するタイムリーな情報や県内各地で開催されるイベント情報をホームページやツイッターで発信するとともに、年4回の特集ページの制作、動画やフリー素材の写真データ、各種リンクなどの充実によりアクセス数の増加を図る。

(4) マスメディア活用事業

大分県観光のイメージアップを図るため、九州観光推進機構や福岡・大阪・東京の大分県事務所と連携し、テレビ、雑誌、新聞などマスメディアに対して積極的に働きかけ、情報発信に努める。

(5) 日本一のおんせん県おおいた PR 事業

“おんせん県おおいた”の統一したイメージによる情報発信としてポスター、幟などのツールを作成するとともに、大分県観光を紹介する動画の制作や、クーポンを付加した新しいガイドブックを作成する。

(6) 緊急雇用おんせん県パワーアップ事業

温泉を柱としたイメージ戦略による情報発信を強化するため、新たに職員を雇用

し、県外でのイベント等への積極的な参加やインターハイ会場におけるPR活動、並びに大河ドラマのPR・誘客に努める。

3 海外観光客誘致対策事業

(1) 中国・韓国・香港・台湾などの誘客対策事業

国・地域の特性や旅行ニーズに応じたアプローチを行い、誘客を展開する。

中国ではインターネットなどの様々なメディアを活用することで「大分」の知名度の向上を図るとともに、観光交流協定都市への教育旅行プロモーションや大型クルーズ船の誘致活動などを行う。

大分県への観光客数では最大の実績のある韓国に対しては、国際観光展・商談会への出展やプロモーションにより、オルレ・登山など特定の目的をもった週末旅行や家族旅行、女子旅など新しいメニューの提案を行うことで、更なる誘客へと繋げる。

訪日旅行のリピーター率が高く、個人旅行の割合が多い香港・台湾についても同様に、現地でのセールスやプロモーションの強化を行う他、福岡空港からのアクセスなどきめ細かな情報の提供を行うことで利便性や魅力の向上を図る。

また、東南アジア諸国や他の地域に対しても適宜、情報発信や誘致活動などを行う。

- ・観光展・商談会や大分物産フェアなど、現地セールスの強化
- ・大型クルーズ船の県内寄港の定期化に向けた誘致活動の実施
- ・外国語ホームページの運営及び外国語パンフレットの作成
- ・留学生を活用した特区ガイドの養成
- ・長崎・熊本と連携した九州横断ルート of 宣伝活動や誘致活動の実施

4 ツーリズム推進体制強化事業

(1) 総会の開催

会員の総意に基づきツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を年1回開催する。通常総会においては、前年度の事業報告や決算報告を行うとともに、新年度の事業計画案、収支予算案を諮り、その承認を求める。また、大分県のツーリズム振興に特に功績のあった団体・個人に対してその功績を称え、表彰を行う。

(2) 理事会の開催

通常理事会については、年3回開催する。

(3) 運営会議の開催

事業活動の円滑な運営と活性化を図るため、会長、筆頭副会長及び副会長からなる運営会議を定期的で開催する。

(4) 運営基盤の確立

安定した運営基盤を確立するため、新規会員の加入促進や自主事業収入の確保など運営基盤の強化を図る。

(5) 会員との連携強化

大分県全体のツーリズム振興をさらに円滑に行うため、各地域の市町村・観光協会・観光事業者・まちづくり団体など会員との連携体制を強化し、情報収集及びその発信をはじめ共同での事業推進を図る。